

たばこ対策の3本柱

現状

R1～R2年度の取組

受動喫煙防止

行政機関の受動喫煙の状況

R1年 4.6% 目標0%

職場の受動喫煙の状況

R1年 33.3% 目標0%

飲食店の受動喫煙の状況

R1年 30.3% 目標11%

○受動喫煙対策に関する検討(R2年～)

- ・受動喫煙対策の一層の強化を図るため、条例を含む対策を検討。
- ・第1種施設、第2種施設に対して受動喫煙対策の実態を調査。

○受動喫煙防止普及啓発事業(H30年～)

- ・雑誌広告、ラジオスポットCMを利用した喫煙マナーの啓発広報
- ・飲食店及び企業を対象とした受動喫煙を防ぐための環境づくり

○禁煙・分煙宣言施設登録事業(H16年～R1年)

- ・地域機関での検討会の実施
- ・出前講座などを活用し、登録施設数の増加を図る
- ・施設管理者への普及啓発

○健康づくり支援店「禁煙・分煙対策部門」(H20年～R1年)

- ・飲食店のセミナーや研修の機会に、本事業について紹介し、登録に結びつける

禁煙支援

喫煙率 男女計15.6%(R1年)

男性27.4%、女性5.0%

たばこをやめたい人の割合

男女計24.9%(R1年)

男性21.0%、女性43.8%

公表している禁煙外来医療機関

R2年9月現在 139機関

(うち保険適用医療機関 116機関)

○県ホームページによる禁煙外来情報の提供(H18年～)

○禁煙支援検討会の実施(H25年～)

- ・県内2地域で禁煙支援に関する検討会を開催

○禁煙支援体制整備事業(H26年～)

- ・特定健診・保健指導実践者等を対象に研修会を開催

○若年女性の喫煙対策(H22年～)

- ・禁煙支援コミュニティサイトの運営
- ・若年女性を対象としたリーフレット及びポスターによる啓発広報

○健康づくり県民運動「ヘルスプロモーションプロジェクト」(R1年～)

- ・「生きがい・幸福度」を軸に、「食生活」、「運動」、「デンタルケア」、「たばこ」、「早期発見・早期受診」の5つのテーマで県民運動を展開。

未成年者の喫煙防止

未成年者喫煙率の減少傾向

高校2年生

H25(男女の別なし)4.8%

H28(男女の別なし)2.7%

R1(男女の別なし)0.9%

○禁煙ポスターコンクール(H3年～)

- ・小中高校生を対象に「たばこの煙のない環境づくり」をテーマに作品を募集